よりよい地域をめざして…地域情報紙　買い物や飲食は地元のお店を利用しましょう
シティライフ
2019.5.25 Vol.1099
外房長生夷隅版　配布地域／茂原市・長生郡・いすみ市・夷隅郡・勝浦市【65,000部】
https://www.cl-shop.com
企画・制作／シティライフ編集室 〒290-0056 市原市五井4874-1
TEL.0436 (21) 9311　FAX.0436 (21) 9142
地域で守ろう子どもの安全　次回発行日▶6月1日(土)　中央①
シティライフが提供する動画をWEBで見れます！　動画あり　左記のアイコンがある記事はシティライフWEBより関連動画がご覧頂けます！

ゆる～く楽しく地域に密着した子育て支援
自然あそび・コロボックル

２０１６年２月から夷隅郡御宿町を拠点に活動する自主保育サークル『自然あそび・コロボックル』。現在、御宿町をはじめ勝浦市、いすみ市から10家族が参加している。「東京都東村山市で初めての子育てをしていた頃、子どもとどうやって遊んでいいか分からず困っていました。そんな時、畑で育てた野菜を給食で食べたり、山や原っぱなどで遊ぶ自然保育園に通うようになり、親の私もいろいろな自然あそびに触れることが出来ました。２人の子どもがお世話になっているうちに、子どもだけでなく私も一緒に育てられていくようでした。9年前、御宿に引っ越し、もう1人子どもができたので自然保育園を探しましたがありませんでした。それなら海や山、畑や田んぼがある環境と、自然保育園での遊びの経験を活かして自主保育グループを作っちゃおう！と、同じような思いの友人に声をかけ、活動を始めました」と主宰者の小野寺礼江（のりえ）さん(45)。

一般的に自主保育は未就学児と親が参加するが、同サークルは年齢に制限がなく、小学生になっても大人だけでも参加することができるようにと、子どもと大人が一緒に楽しめる企画をたてている。

サークル名のコロボックルとはアイヌの伝承で蕗の下にいる小人という意味。子どもが畑の大きな里芋の葉を持って遊んでいる姿が小人のように見えたことから「自然遊び・コロボックル」とネーミングしたという。

これまで春には田植えやお花見、梅雨の時期にはヤマユリを見に勝浦市にある理想郷探検、夏は磯遊びや野菜の収穫。秋には森でキノコ探し、畑で収穫したカボチャの実をくり抜きランタン作り、冬はツルで作ったカゴを使った買い物ごっこ、みかん狩りなどをしてきた。外遊びが多いので、庭のハーブを使った虫よけスプレーも手作りした。農園の一区画を借り、在来種の大豆やオーガニック、無農薬の野菜も育てている。おにぎりだけを持って畑に行き、収穫したキュウリやトマト、サラダ菜などをおかずとして食べたこともある。また栽培した大豆を使った味噌や醤油作りも行っており、年間を通して醤油は手作りのもので用が足りているほどだという。天候が悪ければ子どもの手形を使った手ぬぐい作りやメンバーの家でとれた梅を使ったジュース作りなど、臨機応変に活動内容を変えている。

現在のメンバーは移住者なので、積極的に地元の人と関わりを持つことにしている。「借りている農園の隣のおばあちゃんから苗を分けてもらい、野菜を育てるコツを教わったり、手作りのおやつをごちそうになりました。海で出会った海女さんから海藻や貝のことを教えていただいたり、吊るし飾りを作るサークルとも交流があります。また自分を見つめ直して子どもを受け止めるといったテーマで親のためのセミナーに参加したり、先輩ママを囲む会など、子育て中の母親の安心や癒しになるようなこともやりました」

メンバーの家族も一緒に

ある年の夏には、パパやきょうだい、メンバーの友だちも協力し、「夏休みスペシャル」を開催した。パパたちが山の奥から切り出した竹を使って流しそうめん、仕留めたイノシシの肉を使ったカレー作り、蜂蜜搾り、栽培したスイカでスイカ割りなど、ハンターや林業、養蜂家というメンバーの家族の力を合わせることで、ダイナミックなイベントを楽しむことが出来た。「結局は親である自分がやりたいことを楽しんでいるようですが、子どもがいたからこそ楽しい輪が広がっていくのだと実感しています」とメンバー。

海も川もただで使えるからお金はかからないと言うが、野菜の種を買ったりするため、コロボックル費として集合時ごとに１００円を徴収する。基本的には毎週木曜を活動日として10時頃に集まり、昼食をはさんで14時くらいまで活動する。一般的に子どもが成長することで消滅する自主保育も多いが、子どもが思春期になってもこの仲間で活動を続ける考えだ。また子育て世代が移住するきっかけとなるような活動を目指しているという。随時、新しく参加する親子を募集中とのこと。過去の活動については「自然遊び・コロボックル」で検索可能。（大谷）

㈷自然あそび・コロボックル　小野寺さん
☎０９０・９３８４・０８２６
https://www.facebook.com/Sizenasobi/

ハードボイルド小説家の原点を探る

作家 大沢 在昌さん

3月20日㈬市原市勤労会館（youホール）で行われたのは、市原市立中央図書館主催の『平成30年度 文学講座 特別講演会』。直木賞作家である大沢在昌さんによる『ミステリーと私』と題した講演会には約260人の聴講者が集まり、約1時間半、会場は終始笑いに包まれた。

＊＊＊

1956年、愛知県名古屋市生まれの大沢さんは、1979年『感傷の街角』で第1回小説推理新人賞を受賞し文壇デビュー。1991年の『新宿鮫』で第12回吉川英治文学新人賞と第44回日本推理作家協会賞長編部門を受賞した。その後、『無間人形 新宿鮫4』で直木賞、『パンドラ・アイランド』で第17回柴田錬三郎賞を受賞。2006年から3年間、日本推理作家協会理事長を務め、今年で作家生活40周年を迎える。講演では、作家の原点となったできごとや作家生活の難しさ、生み出してきた作品への思いが語られた。

「愛知県で育ち、慶応大学在学中は都内で過ごした私ですが、勝浦市に別荘を持っていることで千葉県は第2の故郷だと思っています。市原市にも車で何度も訪れたことがあるんです」と話す、大沢さんの主な著書のジャンルはハードボイルド。覚せい剤などの麻薬を摘発する麻薬取締官の存在は、近年ニュースで耳にすることもあり広く知られているが、一般の警察官とは大きく異なるという。麻薬や拳銃と切り離せないそんな特殊な世界感を、いかにして学び作り上げたのか。

＊＊＊

新聞記者の父親をもち、常に家の中には本が溢れていた。「父は幼い頃に私の祖父を亡くし、子どもとの距離感が分からなかったそうです。そこで世界の名著をたくさん与えてくれました。おかげで私は小学校に上がる前から読み漁り、高学年になる頃には本を読んでいて怒られるほど」だったとか。次第に、アガサ・クリスティやエラリークイーンが描く海外の探偵小説に夢中になっていった大沢さん。そして出会ったのが、ウィリアム・P・マッギヴァーンの『最悪のとき』。市長や警察までもがギャングに染まった町で、元刑事の男が諦めることなく犯人を追及する内容に、大沢さんはそれまで読んだどの小説よりも面白く感動したという。

中3の時、日本のハードボイルドの先駆者である作家、故・生島治郎さんの小説に出会った。「日本でハードボイルドが通用するのか、海外小説の翻訳に多い一人称でなく三人称でも成立するか、とすぐに質問状を送りました。便箋8枚に及ぶ返事をいただいたことが嬉しく、中学生から小説を書き始めた」というのだから、デビュー以前を含めた執筆歴の長いこと。23歳でデビューしてからは、当時流行していた様々なノベルスで出版を続けたものの、『新宿鮫』で脚光を浴びるまでは我慢の連続だったようだ。「父は私がデビューする1カ月前に亡くなったのですが、ずっと小説家になることを反対していました。作家になるのは難しいというのをよく知っていたのでしょう」と振り返り、「実際デビューしたものの、当時食べていくことは大変でした。周りの仲間が売れていくのに、自分の作品は注目されない。1年半かけて執筆した作品が重版されなかった時に、初めて感情が乱れました。難しいことを考えながら書くことはやめようと若干軽い気持ちで書いた作品が『新宿鮫』。半月も立たず重版、どんどん売れて驚きました」と続けた。下積み時代となった10年ほどを経え、その後はプレッシャーを感じながらも多くの、そして躍動感のある小説を生み出し続けてきた。

小説家としての重み

「人が残酷に死ぬけれど、熱い想いを秘め、あえて非情で冷たく見せるハードボイルドは日本人の心に最も合うジャンルだと思っています。顔で笑って、心で泣く。男より女の方が実はハードボイルドだと思うし、私は女性の心情が分かると思っているので主人公の男女比率は半々」と言う大沢さん。今では他の作家に類を見ないほどハードボイルドの世界に詳しいといわれるまでになった。今年の秋には100冊目の小説を出版予定だ。

「作家になるより、続けることが難しい。自分が傑作だと思っても、人が面白くなければ意味がない。すでにあるトリックを知らなかったといって盗作しては恥を見せるに等しい。作家志望は近年増え続けているが、たくさん本を読み知恵を振り絞って書き続けてください」と、熱く語った。

来場者からは、「高校時代に年間千冊本を読んでいたそうですが、どんな習慣でできたんですか」、「勝浦で過ごしている時間が、作品に影響を与えていますか」などの質問が飛び、大沢さんは一つひとつに丁寧に答えていた。（松丸）

季節のスケッチ

俳画と文 松下佳紀

飛ぶ蠅に五月蠅のルビ思い出す

ある日どこから侵入したのか、机に一匹の蠅が飛んできた。本に止まった、と思うと私の頭に止まる。追い払っても舞い戻る。ぶんぶんと羽音がうるさい。誠に不愉快だ。しかし、それで思い出したことがある▼少年期の私が読書中に五月蠅いの文字に出会ったことを。敏捷な蠅と五月の季節感を見事に言い表し、実に面白いと感じ入ったことを…▼後に煙草、麦酒、海苔、浪漫的、五月雨、餓鬼などルビの付いた当て字を発見しては喜んだものだ。更に鴉が唖唖と鳴き、詩人が嗚呼と嘆く字面にも共鳴した▼以上、少年期の関心事が今に至る私の俳諧趣味に及んでいることを改めて知ると共に算数はまるで駄目、国語の書き取りなどは好きだったのを思い出す。

行広告

有料 1行2,400円(税別) お申込はお早めに
☎0436-21-9311 FAX0436-21-9142

※掲載情報をご利用の際は、売買契約等、当事者間でよくお話し合いの上ご契約ください。取引について当社は一切責任を負えません

申し込み方法

◆専用申込書をFAXまたは郵送でお送りします。
◆申込書に所定の内容を記入後、ご送袋ください。追って掲載料金等を記載した受注書を発行します。
◆掲載料は前払いなので、受注書を確認されたらお振込ください。掲載紙面は1部ご郵送します。

買います

●きもの専門(今昔)野口染工場 ☎0470-83-0136
●ピアノ 漆田 0120-00-4210
●金プラチナ商品券 相場・額面の90〜98%で てんとう虫 ☎0475-72-9400 大網店 休み不定 0476-36-4388 富里店 043-310-5825 都賀店

生徒募集

●着付教室 毎(日)10時〜11時・13時〜14時 1回500円 浴衣から二重太鼓まで 詳しくはお問合せ下さい きもの館まるへい 茂原店 ☎0475-25-2617 担当:小谷部 岬本店 ☎0470-87-2707担当:飯野
●全日制フリースクール 中学不登校生のための学びの場です 成美学園中等部 ☎0475-44-5777

求人

●パート美容師募集 週1日からOK ラセーヌ牛久店 ☎0436-50-0822
●スタッフ募集 ランチスタッフ900円〜 ディナースタッフ1,000円〜 詳細はお気軽にお問合せください フランス割烹・和牛ステーキ 茂原竹田屋 ☎0475-27-2013 月曜休み

営業案内

●ピアノのレンタル シツデン 0120-00-4210

お知らせ

●教育相談 ニート・不登校・学力不足・ひきこもり 初回無料 要予約 成美学園 ☎0475-44-5777

●笑激!!お笑いカーニバルin千葉 6/1(土)13時半と17時開演の2回公演 千葉県文化会館 ナイツ、三四郎、東京03、ブルゾンちえみwithB、あばれる君、インスタントジョンソン、U字工事、平野ノラ、ラバーガール、いかちゃん出演 当日DVD購入の方はハイタッチ会に参加できます(出演者の変更の場合あり) 前売3,800円、当日4,300円 ベルワールドミュージック 平日12〜18時 ☎03-3222-7982
●君津市民文化ホール サンクトペテルブルグ国立舞台サーカス 7/31(水)12時半・15時半の2回公演 3歳以上・全席指定2,800円(2歳以下膝上無料、座席が必要な場合は要チケット) 空中ブランコ、アクロバット、ジャグリング、バランス芸、ピエロの曲芸などを舞台式サーカスで(動物の出演はなし) ☎0439-55-3300

らいふ通信

掲載無料 詳しくはお問い合わせ下さい
☎0436-21-9311 FAX0436-21-9142

※掲載情報をご利用の際は、内容を当事者間でよくお話し合いの上ご利用ください。当社は一切責任を負えません

申し込み方法

※個人情報や呼びかけなどにご利用ください。
※お申込み 内容を箇条書きにして、住所、氏名、電話番号を明記し、FAXか郵送、メールで
FAX0436-21-9142 メールkiji@cl-shop.com

ペット情報

●子猫差し上げます 4/1生:長毛茶トラ・三毛・キジ・各メス 生後約10カ月:白・メス、エイズ・白血病ウィルス検査は陰性、避妊手術済 茂原・石井 ☎0475-24-8637

サークル

●卓球・ピンポン同好会 (水)13時半〜15時半 長柄町の武道館 会費:ゼロ円 シングルスのラリーを楽しみます 参加者募集中 山口 ☎0475-35-3486
●茂原SDサークル・マイフレンズ 第1・3(火)茂原市高師・諏訪会館 第2・4・5(火)茂原市民体育館 13〜16時 スクエアダンス 楽しく踊って運動不足を解消し、健康的に! 見学自由 一般・初心者歓迎 会費:3カ月2,000円 三浦 ☎090-2305-9243

イベント

●彩りある豊かなくらし展 5/26(日)〜6/16(日) 10〜17時、最終日15時 ギャラリー801(睦沢町) (火)(水)定休 入場無料 漆、木、革、金属、陶器、布、天然石を用いた、作家9名の作品 暮らしの中で楽しみや喜びを感じる一点もの ☎0475-40-3035
●高円宮賜杯全日本学童軟式野球大会 マクドナルド・トーナメント千葉県予選大会 5/26(日)・6/1(土)・2(日) 青葉の森スポーツプラザ野球場(開会式ほか)、稲毛海浜公園スポーツ施設野球場、百目木公園野球場(決勝戦ほか) 市原、かずさ、九十九、東総など県内各地から小学生の16チームが参加 試合開始9時〜ほか 予備日6/8(土) 入場無料 問合せ:千葉県野球協会 植草 ☎090-1053-8368
●TSUYUmamaチョークアート展 5/29(水)〜6/9(日) 10〜18時 アートサロン・茶房けい(一宮町) チョークアート作品、笑手紙作品、ホワウロペイント作品 販売あり 6/3・4休 ☎0475-40-0862
●長生郡写真クラブ合同作品展 5/30(木)〜6/4(火) 9〜17時、初日12時〜、最終日16時まで 茂原市中央公民館 入場無料 会員70名による作品 課題・ふるさと百選6点、自由作品71点 参加団体:長生村写真クラブ、長南フォトクラブ、長柄フォトクラブ、白子町白写会、睦沢フォトクラブ、一宮虹の会 大矢 ☎0475-33-4702
●にっぽんの手わざ展2019夏・ホンモノは美しい 6/1(土)〜9(日) 10〜18時、最終日15時まで 家具+ギャラリー(長南町・大谷家具製作所) 遠州綿紬、駿河竹工芸、駿河塗下駄・張下駄 ☎0475-47-3530
●花園流寿扇会・夏のおさらい会 6/2(日) 10時半開演 長生村文化会館 入場無料 子どもさんからシニアの方まで出演、いろいろな方の踊りが見られます ☎0475-42-3193
●茂原高校・静和会総会 6/2(日) 13〜15時半 県立茂原高校 ソプラノ独唱・吉村万里子、マンドリン演奏・茂原高校マンドリン部 ☎0475-22-4505
●講演・大田實中将と沖縄戦「沖縄県民斯ク戦ヘリ」 6/4(火)東金市中央公民館 6/6(木)茂原市東部台文化会館 6/7(金)市原市市民会館 ともに18時半〜20時半 長柄町出身・海軍中将大田實54年の生涯と戦後、大田家の昭和史、DVD視聴、意見交換、映画化について他 講師:相馬康夫(長柄町) 顕彰会 ☎090-7009-3314
●特典付月例ダンスパーティ 6/8(土) 17時〜高貫ダンススクール(いすみ市岬町) 参加費:1,000円・軽飲食付 サークルたんぽぽ会員募集中:基本重視のステップとトレーニング・月3回(土)・13〜14時・月会費1,500円 ☎090-4208-1210
●最新の接ぎ木講習会 6/8(土) 10〜12時 茂原市三ヶ谷 実技指導・独自の活着100%近い方法 採り木、挿し木などの話もあり 参加費:1,000円 古山 ☎080-1153-2513
●白子ホタル祭り 6/8(土)9(日) 19〜21時 蛍の里(白子町第3クリーンセンター隣) 参加無料 数々のアトラクションも予定 主催:白子ライオンズクラブ ☎080-9547-1780
●ストーンサファリ 6/8(土)9(日) 10〜16時 大多喜ハーブガーデン 天然石専門店&アクセサリー作家の作品展示販売会 マクラメ・ワイヤー・シルバー・ビーズなど 軽食や花小物、ボディアート、セレクト書籍など他のジャンルもいろいろ出店 実行委員会 ☎090-2666-3229
●写友さくら写真展 6/8(土)〜16(日) 初日13時〜、最終日14時まで 茂原市中央公民館 無料 吉村 ☎0475-23-0676
●日本ミツバチ趣味の養蜂講習会 6/9(日) 13〜16時 斎藤宅(いすみ市岩船) オリジナル資料による養蜂基礎講義 巣箱作りや自然群、分蜂群捕獲方法など 当日、都合の悪い方は日程調整可 参加費:2,000円(蜂蜜50gの土産付) かなり ☎090-7219-4836
●ダンスパーティ 6/10・24(月) ともに13〜16時 K&Dうちやま(茂原) 会費:1,000円 ☎0475-26-4848
●茂原地区ハーモニカ教室発表会 6/11(火)12時半〜 茂原市東部台文化会館 入場無料 越智 ☎0475-38-0027
●ラベンダースティックを作ろう 6/22(土) 14〜15時半 カフェ・ピア宮敷(いすみ市) 参加費:2,000円・ワンドリンク付 障害を持つ方が心を込めて育てたラベンダーを使う 初めての方やお子さんも安心して作れます ☎0470-87-5202
●プリモーイ・バレエスタジオ発表会 6/23(日) 14時開演 岬ふれあい会館 13時〜ロビーにて軽食やアクセサリーなどの出店あり 全席指定・入場無料 ☎090-2244-7032

アクティブシニア募集中!

近年、各地で活躍が話題となっているアクティブシニアの皆さん。アクティブシニアとは、65歳以上で趣味やボランティア、仕事など様々な活動に意欲的である元気なシニア層のこと。

生涯現役志向で自分なりの価値観やライフスタイルへのこだわりを持ち、自分らしく前向きに明るく生きている方、新しいことへの挑戦を試みている方も多いです。

かつてのシニアとはイメージが変わってきた今のシニア世代。高齢者と呼ぶには戸惑うような元気ではつらつとした生き方を実践しています。

読者の皆さんの周りにもそんな方がいませんか?自薦・他薦不問。シティライフでご紹介することで、多くの方々の励みになったり、刺激になることと思います。宛先は『シティライフ・アクティブシニア』係迄。メール・ファックスで。※取材をお願いする方には、こちらから電話連絡しますので、必ず電話番号を明記のこと。

FAX0436・21・9142
kiji@cl-shop.com

上総国一ノ宮 玉前神社提供 読者投稿 お好きに川柳〈第183回〉

◆お題「谷」

一席
連休の谷間に令和動き出し　大網白里市　渡辺光恵

●千葉だって やはりあるんだ渓谷美　茂原市　へいちゃん
●今は見ぬ 獅子の子落とし真似る親　勝浦市　岡元邦武
●景気の山 知らずに谷は先に来る　大網白里市　安延春彦
●谷底の 人生ドラマ胸を打つ　白子町　佐川浩昭
●谷に橋 山にトンネル坦坦と　大網白里市　細矢収二
●心電図 波の谷間で息を飲む　茂原市　道譯賢一

【賞品】
一席の方には、玉前神社様より2千円分の図書カードをプレゼント
【応募方法】
ハガキかFAX、メールで、〒番号、住所、氏名(希望の方はペンネームも)、年齢、電話番号を明記の上、〒290-0056 市原市五井4874-1 シティライフ「川柳」係。
6/11(火)〆切 ※一枚のハガキ、FAXに何句書いていただいても結構です。皆様の応募待っております。
fax.0436-21-9142 kiji@cl-shop.com
次回・お題は「ぐったり」です

ご祈寿
毎日9時〜16時の間 いつでもお受けしています
〈玉前神社〉 TEL.0475-42-2711

誰よりも速く、強くなるために

茂原市在住の町山哲太さん⑿は、昨年出場した『とびうお杯第33回全国少年少女水泳競技大会』の男子50mバタフライで優勝、男子200m個人メドレーで第2位の好成績を手にした。3月28日には『第41回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会』に出場。「この大会に出られたことが、今まで水泳をやってい た中で一番嬉しかったです」と、はにかむ町山さん。ジュニアオリンピックは全国からの強豪選手が集まる、ジュニア選手にとっては最大の大会。出場するために必要なタイムが決まっていて、コンマ1秒を争う世界だ。「泳いでいる時は、隣のレーンも見えるので意識しています。水に入る前には緊張をほぐすために深呼吸をして、泳いでいる時は必死です。ただ、狙っているタイムのことだけは考えています」と、町山さんは振り返る。

町山さんが水泳を始めたのは1歳の時、母親に連れられて行ったベビースイミング教室。以来、『スポーツプラザEAST』で12年間練習を続けている。当然ながら「初めての教室は記憶にない」というが、お風呂も好きだったという町山さんは、プールの水を怖がることもなかったとか。3歳になると一人で泳ぎ始め、物心が付く頃には水泳をすることが当たり前の日常になっていた。スイミング教室では順調に進級を重ね、「選手コースに誘われ続けていた」というものの、幼児期はちょっぴり新しい場所に馴染むことを躊躇い、断っていた時期も。しかし、いざ選手コースに入ってからは持ち前の運動神経の良さを発揮。秋から冬の多い時期には月に2、3回の大会に出場してきた。

「練習は週6回、2時間程度行います。土曜日には朝と夜に泳ぐ」というほどの練習量。学校の授業でも体育が好きだという町山さんは、東部小学校在籍時には陸上部に所属して県大会に出場したことや、地域のマラソン大会に出場して入賞した経験もあるほどの運動神経だ。「家では懸垂の器具があるので、筋力トレーニングもしている」とか。町山さんのお母さんは、「私が元々水泳をやっていたので、子どもにも好きになって欲しかったんです。でも今は、悔いのないように頑張ってもらえればと思って応援しています」と、笑顔を見せた。

今春、町山さんは茂原市立南中学校に進学。「今まで大きな挫折はありませんでした。でも、強豪選手が多いとはいえ、今回のジュニアオリンピックで思うような結果が残せなかったことが少し悔しかったです。今後は基本的にスイミングでの活動を主に続けていくつもりです」と話す町山さんの夢は、「日本選手権に出場する!」こと。大きな目標を胸に、町山さんは今日も練習に励んでいる。(松丸)